

人類に奉仕するロータリー

Rotary Serving Humanity

平成29年1月25日 第2,398回 No. 2,153号

会長：宮澤 与一 ・ 幹事：鷺澤 幸一 ・ 会員サービス委員長：岩本 弘

E-mail：neast-rc@valley.ne.jp

URL：http://www.valley.ne.jp/~neast-rc/

《ロータリーソング》

- それでこそロータリー

《会 長 報 告》

- 皆さん、こんにちはお足元の悪い中例会にご出席いただき誠にありがとうございます。連日の大雪と寒波で大変な正月であります。体調など壊さないでお過ごしのことと存じ上げます。

次年度地区大会についてご報告いたします。小山健英次年度地区大会実行委員長ご逝去されました事により、原徹爾君に実行委員長をお引受けいただきました。また地区大会幹事に岩本弘君、副幹事に鷺澤幸一君に快くお引受けをいただきました事を報告します。昨年の50周年記念事業同様地区大会の会員皆様のご理解と協力お願い申し上げます。

本日は、ロータリーにおける親睦とはについてロータリー文責よりお話しをしたいと思います。

親睦と奉仕は、ロータリーの二本の柱といわれています。しかし、ロータリーは敢えて親睦と奉仕の解釈を、世間一般の人たちが考える解釈と異なる次元に置いています。この二つはロータリー独自の概念であり、これを正しく理解しない限り、ロータリー思想の原理に触れることは難しいといわれています。Fellowshipを「親睦」と訳したことにも問題があるのかもしれない。むしろ、「連帯感」とか「協調」と訳す方が理解し易いでしょう。「親睦」とはロータリークラブが、クラブとして存続していく上で欠かすことの出来ない必要条件となる、ロータリアン個人個人の心が結合した状態を表す概念なのです。言いかえれば、“Fellowship”はロータリーの引力ともいえます。

“入りて学び、出でて奉仕せよ”

ロータリー運動の実体を、見事に表した言葉として、「入りて学び、出でて奉仕せよ」“Enter

to learn, Go forth to serve”という言葉があります。世の中のあらゆる有用な職業から選ばれた裁量権を持った職業人が、一週一回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心が育まれてきます。この例会における一連の活動のことを「親睦」と呼ぶのです。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践します。これが理想とされるロータリーライフです。

悩みごとを相談する真の友人こそロータリーの友でなければならず、それを可能にするためには、ロータリーの友情即ち親睦を更に高めなければなりません。もし、事業不振のため退会を余儀なくされる会員がいたとすれば、そのクラブにはロータリーの親睦がなかったことを証明することになるのです。職業上の相談はどんなことでもクラブ内の友人に相談できる。どんなことを相談しても、自分のマイナスになって返ってくることは絶対ない。これが可能なクラブのことを、親睦のあるクラブといえます。その前提となるのが一人一業種制度なのです。親睦活動 (Fellowship Activities)

ロータリークラブの会員の中にも、親睦と親睦活動を混同する人が多いようです。親睦会やゴルフ会に参加することは親睦活動に参加することであって、親睦とは違った次元のものであることを理解すべきでしょう。

親睦活動が委員の任務を、親睦会の幹事や同好会の世話役に留めることは大きな誤りです。クラブ奉仕の充分条件の範囲内で、親睦というロータリー本来の運動を高めるために補助的に活動することは大切なことです。しかし、親睦活動は確かに会員が心を打ち解けあう手

段の一つとして、親睦会やクラブ活動などのレクリエーションも必要です。しかし、親睦を深める最適の場所は、毎週一回の定例の例会であることを忘れてはなりません。例会において、いかに友情を深めるかを考え実行すること、いかにして真の親睦が保たれるような環境を整備することが最大の任務なのです。

丹治年度では、新入会員のうち特に転勤族の会員には親睦委員会に所属していただきます。これは、新人だから下働きに使うということではなく、親睦委員として毎例会、会員相互の親睦を深める活動に従事することによって、一日でも早く、古い会員と融和を図ることを期待しているからです。友情溢れる例会を通じて、ロータリアンがお互いに切磋琢磨し、自己改善に努めることで、ロータリーの説く親睦が一層深まり、奉仕の心が高まっています。

本日は、ロータリーにおける親睦とはについてお話をしました。ご清聴ありがとうございました。
(文責丹治正博)

《幹事報告》

- 第39回長野市内6RC合同親睦ゴルフコンペのご案内
開催予定日：5月14日(日)
場所：長野カントリークラブ
今回は当クラブがホストとなりますので、大勢の皆様のご参加をお願いいたします。
- 米山記念奨学会より創立50周年特別寄付に対して記念の楯が届いております。事務局に保管しておりますのでよろしくお願いいたします。
- 次週の例会場は会場側の都合により2F「弥生の間」となりますのでお間違いのないよう、よろしくお願いいたします。
- 例会変更のお知らせ
上田西RC 2月9日(木)祝日の為、休会いたします。
*定刻受付はいたしません。
2月16日(木)例会日を変更いたします。
*定刻受付をいたします。
2月23日(木)例会日を変更いたします。
*定刻受付をいたします。

《出席報告》

本日	出席	欠席	出席率
会員数 55名	26名	29名	47.27%
前々回 1月11日	訂正出席率	76.00%	

《ニコニコボックス》

夫人誕生祝い：土屋 磯司君、中澤 勝君

在籍賞：土屋 磯司君

- ご無沙汰のお詫び傍々。 土屋 磯司君
- いつもお世話になっております。本日は初めての会員卓話をさせていただきます。人前で話すのは苦手ですが、よろしくお願いします。

山本 英夫君

《委員会報告》

- スキー同好会 宮澤 与一君
お手元にご案内が届いているかと思いますが、3月11日・12日に野沢温泉スキー場にて開催いたします。実はスキー同好会の会長も小山健英さんでした。追悼の意も込めて大勢の方にご参加していただければと思います。よろしくお願いいたします。
元会員の清水さんや八木さんも参加予定です。よろしくお願いいたします。

《退会挨拶》

- 山崎 由和君
2月1日付けで人事異動がありまして当クラブを退会することになりました。ただ人事異動と言いましてもこのまま長野におります。私の職性としては、長野支店におりましてこの長野の周辺の地域のお客様がご旅行に行かれる際のお手伝いが仕事でしたが、今度はいかに長野県に来ていただくか、ということになります。私どもの用語でいうところの発営業から受営業になるわけです。長野県全域を受け持ちまして、オフィスも同じビルの中です。またどこかでお行き会いするかと思います。後任は支店長の石黒が入会させていただきます。遠いところに行くわけではありませんので、お別れという感じではありませんが、はじめとして本日ご挨拶をさせていただきました。ロータリーソングに「どこで会ってもやあとと言おうよ。見つけたときにはおいと呼ぼうよ。」とありますとおり、またどこかで見かけたら声を掛けていただければと思います。
ありがとうございました。

《本日のプログラム》

- 会員卓話
山本 英夫君
「電力全面自由化開始後の現状」



《文化学園長野中学・高等学校

インターアクトクラブ活動報告》

『青少年交換委員会・インターアクト委員会
合同県内研修 2017 に参加して』
文化学園長野中学校 3年 花立 ひなた

今回、日本に来ているインバウンドの生徒の方たちとの交流の機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

海外の方とお話しする機会は中々ないので、とてもいい経験になりました。私も将来海外に行きたいと考えているので、これから海外に行くアウトバウンドの生徒の方たちのお話も勉強になりました。

今回、この研修で積極性の有無がとても重要だと感じました。研修では日本語が通じることもあり、会話に困ることは余りありませんでしたが、もしほかの言語しか通じなかったら、自分がどれだけその相手とコミュニケーションをとろうとするか。その積極性が、言語が獲得に大きく関わってくると改めて感じました。

今後、留学する機会があれば今回この研修で学べたことを胸に頑張りたいです。

今回は生憎の天候で、予定通りの日程ではありませんでしたが、とても楽しい1泊2日でした。本当にありがとうございました。

『追記 交流会概要について』

地区インターアクト副委員長 佐藤 忠幸

1月14日(土)・15日(日)の2日間で交流会を開催しました。

- 参加者 交換留学生インバウンド3名、インターアクター19名(内 派遣候補生7名)

IAC 顧問教師4名、ロータリアン3名 総勢29名が参加。

文化学園長野中学・高等学校 IACは7名が参加(内 中学生は6名・高校生1名)

- 工程

〔第一日目 14日〕

県内各所より集合(南信方面早朝より移動、茅野駅からロータリアン運転の小型バスにて移動)長野駅合流10時20分出発⇒善光寺参拝(お戒壇巡り)⇒湯田中スノーモンキーパーク地獄谷⇒民宿 たんぼ荘⇒夕食⇒懇親会(英語で学校紹介やクラブ活動の紹介・余興 等すべて英語でのスピーチ)

〔第二日目 15日〕

民宿 たんぼ荘⇒ミーティング・雪合戦⇒小布施 北斎館見学⇒北斎亭で昼食⇒長野駅 各所で解散

14日からの大雪の為、長野市内も交通渋滞でバスの移動に時間がかかり、1日目の信濃美術館見学と2日目のMウェーブの見学はやむを得ず、誠に残念でした取り止めとなりました。

しかし、スノーモンキーパークまでの雪道の徒歩移動やバスの中では英語が飛び交い気楽に会話ができる交流会ができました。昨年に続き2度目の交流会でしたが、我が文化学園長野中学・高等学校のインターアクトクラブはやはり昨年同様に他校に負けないスピーチでした。高校生の大日方会長と中学生たちの英語スピーチと浴衣を羽織っての日本人にはおなじみの小話落語を英語にて数人でリレー方式で演じました。インバウンドの学生たちには少し日本人のユーモア的なところが難しかったかもしれませんが、我々にも英語が理解でき?とてもよくでき、皆さんからもたくさん拍手をいただきました。去年は雪が無く民宿からだいぶ離れた雪原まで行きましたが、今回は民宿の庭先で雪合戦となりました。近年になく長野平野部でも大雪が降り大変でしたが、思い出に残る良い交流会ができたと思います。

《2月1日のプログラム》

- クラブフォーラム

《2月1日のメニュー》

- 和定食
 - ・造り(カンパチ、タコ、甘海老)
 - ・ブリと花大根のべっこうあん
クワイ、パプリカ、マイタケ、さらしネギ
 - ・炊合せ(鱈子、タケノコ、凍豆腐、若布梅麩、木の芽)
 - ・アサリご飯、味噌汁、漬物
 - ・いちごゼリーとホイップいちご

＝次週例会予告＝

《2月8日のプログラム》

- 職場例会 場所：エムウェーブ